

開催日時：2002年1月24日（木） 13:30～16:30

場 所：大津プリンスホテル コンベンションホール「淡海」 2F

1 決定事項

- ・ 2/19 に第10回琵琶湖部会を追加する。午前に一般からの意見聴取（昨年12月に流域委員会が実施した意見募集への応募者から10名程度選出して5分間程度意見発表いただく）を行い、午後には会議を行う。
- ・ 2/19 第10回琵琶湖部会で行う「一般からの意見聴取」の発表候補者を、寄せられた意見をもとに各委員が2-3人ずつ推薦し、2-3日中に庶務に連絡する。それを受けて、部会長と部会長代理で相談し10人程度に絞り込む。

2 審議の概要

今後の部会の進め方について

中間とりまとめの内容（この段階では個別の事業の可否については言及しない等）および部会としてのとりまとめのスケジュールが確認された。琵琶湖部会では、4/5開催予定の第12回部会までにできるだけ議論を重ね、4月26日の委員会に部会としての取りまとめを提出する。

検討項目・総論に関する話題提供について

寺川委員より、資料2「丹生ダムの2つの問題点」として、主に利水の面から丹生ダム計画の2つの問題点が指摘され、計画を見直すべきという趣旨の意見発表がなされた。

検討課題に関する議論

総論部分（2. 社会流域全体の視点「2-1 地球環境」、「2-2 社会環境」、「2-3 ライフスタイル」、「2-4 河川に対する意識」）について議論が行われた。ただし、「2-2（1） 地域社会の捉え方をどうするのか」については、次回に議論されることとなった。

一般傍聴者からの意見聴取

1名の一般傍聴者から発言があった。

住民意見の聴取・反映方法について

庶務より、昨年12月に流域委員会で実施された一般意見募集の結果報告、前回の部会後に行われた「意見聴取のための試行の会」に関する結果概要報告、今後考えられる意見聴取のパターンや具体例に関する説明が行われた。

部会長より、各委員に対し、無関心層への働きかけも含め広く一般意見を聴取できる方法についてアイデアを寄せてほしいとの呼びかけがあった。

河川管理者からの配布資料に関する説明

琵琶湖工事事務所より、資料6として、第8回琵琶湖部会の資料5-1「琵琶湖部会における委員発言に対応する資料（琵琶湖環境の時系列資料）」に関する付表を配布した旨の説明がなされた。

このお知らせは委員の皆様に必要な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」を、発言の詳細については「議事録」を参照下さい。